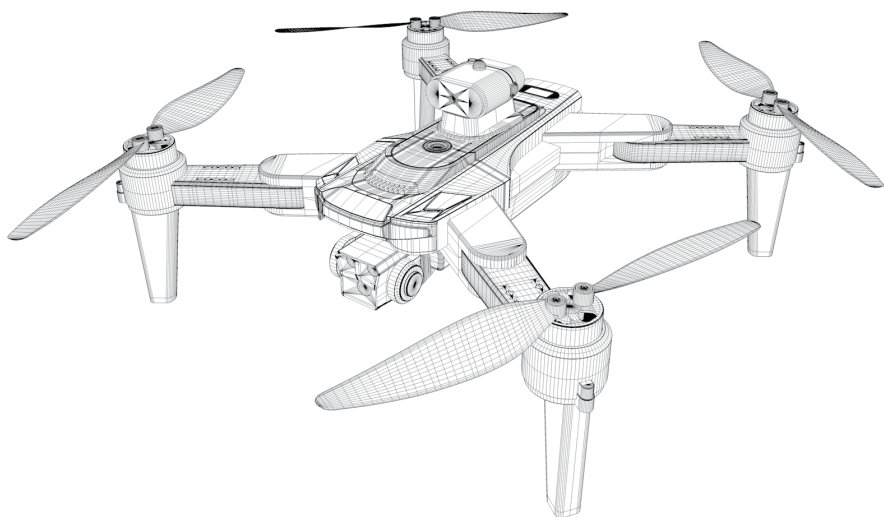


ドローンユーザーマニュアル

P17 PRO



- ✉ メールアドレス: hytobp@htwlkj.net
- ▶ YouTube: [@HYTOBP](#) (Includes tutorial videos)
- 📘 Facebook: [@Hytobp Ht](#)
- ✕ Twitter: [@HYTOBP](#)
- ☎ 電話番号: +1 (617) 259-4732



1. ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
2. 無風の、晴れた、明るい環境で飛行するようにしてください。
3. 飛行する前に、ドローンのバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

⚠ 禁止事項

航空無線局(局)の電磁環境要件を確保するため、空港の滑走路中心線の両側10キロメートル以内、滑走路の両側20キロメートル以内での各種リモコンやドローンの使用が禁止されています。民間航空の路線や路線でも。国の関係部門が無線制御命令を発令する期間および地域では、必要に応じて模型リモコンやドローンの使用を停止する必要がある。

免責事項と安全上の注意事項

本製品をより便利に、安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本書の内容をよくお読みいただき、今後参照できるよう保管してください。

免責事項

1. ユーザーの正当な権利と利益を保護するために、本製品を使用する前に、本製品に提供される説明書、免責事項、および安全上の注意事項を必ずよくお読みください。
2. この製品は14歳未満の人の使用には適していません。14歳以下の人は、ドローンの飛行経験のある大人の監督と指導の下で使用する必要があります。
3. この製品の使用を開始すると、この製品の説明書、免責事項、および安全上の注意事項のすべての条件と内容を読み、理解し、認識し、同意したものとみなされます。
4. この製品を使用するときは、指示および安全上の注意を含む(ただしこれらに限定されない)要件を必ず厳守し、実施してください。安全上の注意事項または不可抗力に違反した使用によって引き起こされるすべての人身傷害、事故、物的損失、法的紛争、および利益相反を引き起こすその他の不利な瞬間については、ユーザーが関連する責任と損失を負担するものとし、当社は一切の責任を負わないものとします。一切の責任を負いません。
5. 当社は、ユーザーが本製品を使用する際に直接的または間接的に発生した法的規定の違反について、一切の責任を負いません。

安全上の注意事項

1. この製品は、14歳未満の人々、および十分な社会的行動能力を持たない人々による使用には適していません。本製品は高速回転するプロペラと強力な飛行力を備えており、操作中に一定の危険を引き起こす可能性があります。2. は使用しないでください。
2. 動作中の製品に近づいて触れてください。
3. 本製品を使用する場合は、空港、鉄道、高速道路、高層ビル、電線などの危険な環境から離れてください。
4. 本製品を使用する場合は、携帯電話基地局、高出力送信装置、その他の電磁干渉の強い環境から遠ざけてください。
5. 本製品を使用する際は、各種有人航空機から離れてください。
6. 雨、雷、砂、霧、雪、強風、低温などの過酷な環境では本製品を使用しないでください。
7. 本製品は防水仕様ではありませんので、水の近くで使用しないでください。
8. 本製品を操作する際は、ドローンと人や動物との間に常に約10メートルの安全な距離を保ってください。
9. ドローンは常に操縦者の目視範囲内で飛行させてください。
10. 本製品を人混みの上でホバリングしたり飛行させたり、他人を怖がらせることに喜びを感じたりしないでください。
11. お子様が遊ぶ場所の近くで本製品を操作しないでください。
12. この製品を車両の追跡に使用したり、車両の通常の動作に影響を与えたりしないでください。
13. 緊急の場合を除き、製品が空中を飛行している間はモーターの電源を切らないでください。
14. 飲酒時、疲労時、薬物服用時、体調不良時などは使用できません。
15. 使用前に、部品の硬さ、本体とプロペラの亀裂や摩耗などを含むがこれらに限定されない、本製品を点検してください。バッテリー残量、インジケータライトの有効性など異常が見つかった場合は直ちに使用を中止し、対応する付属品を交換してください。
16. 異常な動作状態のドローンは事故の原因となりますので、プロペラを始動させたり、無理に飛行させたりしないでください。
17. 本製品の可動部品の動作を妨げないでください。

18. 本製品を改造したり、本来の用途以外には使用しないでください。
19. 法令で禁止されている飛行禁止区域では本製品を操作しないでください。
20. 航空機にはさまざまな素材が使用されているため、高温はドローンの内部構造に損傷を与え、予期せぬ結果を引き起こす可能性があるため、ドローン機器を熱源から遠ざけ、ドローンを長時間直射日光にさらさないようにしてください。長い間、ダウンしていました。
21. 製品の説明書に従って操作してください。
22. メンテナンスや交換には純正部品をご使用ください。
23. 機械を操作するために他の人に貸与する場合は、操作者がこれらの安全上の注意事項を理解し、従うようにしてください。
24. 異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
25. 膨張、液漏れ、損傷のある電池は使用しないでください。
26. バッテリーを充電するときは、可燃物（毛布、無垢材の家具、木の板など）に近づかないでください。
27. 充電には工場出荷時に設定された純正の充電ケーブルを使用し、他のブランドや破損した充電ケーブルは使用しないでください。
28. 絞めや切り傷の危険を避けるため、高速回転するプロペラから安全な距離を保ってください。
29. モデルを耳に近づけて使用しないでください！誤って使用すると、聴覚障害を引き起こす可能性があります。
30. 相互干渉を引き起こす可能性があるため、航空機は他の電気機器や磁気物体からできるだけ離して使用する必要があります。
31. 爆発を避けるため、バッテリーをショートさせたり、圧迫したりしないでください。
32. モーターは発熱部品です。火傷の危険を避けるため、触れないでください。

充電に関する注意事項

1. リチウム電池の使用には、人や財産に多大な損害を与える可能性がある一定のリスクがあり、慎重に使用し、関連するすべての責任を負ってください。
2. 電池が液漏れした場合は、液体が皮膚や目に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と水で洗ってください。目に入った場合は、直ちに多量の水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
3. 充電器から異臭、異音、煙が発生した場合は、すぐにプラグを抜いてください。

充電手順

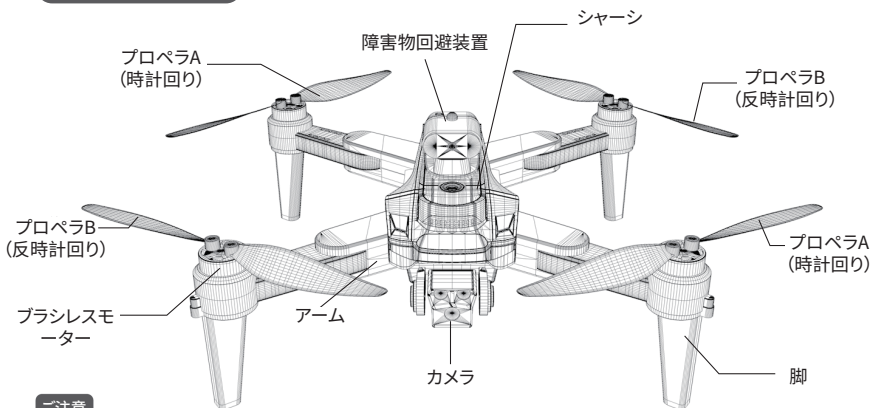
1. 充電には工場出荷の専用充電器を使用し、破損した充電器や他社製の充電器の使用は禁止します。
2. 膨張、液漏れ、損傷した電池を充電しないでください。
3. バッテリーを過充電しないでください。バッテリーが完全に充電されたら、充電器を取り外します。
4. 可燃物（カーペット、木の床、無垢材の家具など）や導電性の表面の近くで充電しないでください。充電中はバッテリーを視野角内に置いてください。
5. バッテリーが冷えているときは使用後すぐに充電せず、バッテリーが冷めるまで10～15分間放置してください。
6. バッテリーの充電温度は0℃～40℃にしてください。

リサイクル

この装置は電子部品とバッテリーで構成されています。電子廃棄物に関しては、地域のゴミ処理要件に従って特別な処理を行ってください。

製品説明

ドローンの紹介



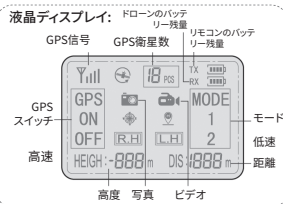
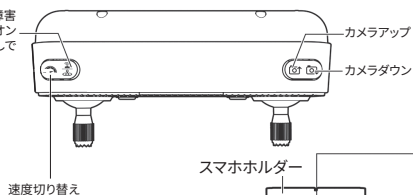
ご注意

ファンブレードを交換するときは、各シャフトに取り付けられているファンブレードA/Bが一致していることを確認してください。

注:写真は参考用です。実際の商品をご確認ください。

リモコンの紹介

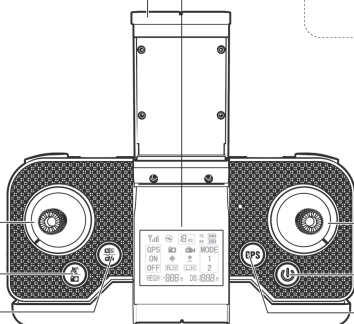
屋内モード:長押しで障害物回避機能をオン
屋外GPSモード:長押しで



左ジョイスティック

短押し: 写真
長押し: 校正

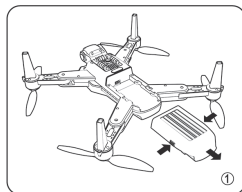
短押し: 地磁気を校正する
長押し: ビデオ



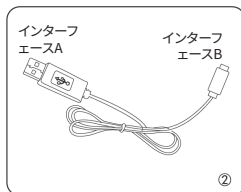
- 1、リモコン低バッテリーのヒント: リモコンの電圧が3.5Vより低く、それは「点滴滴」低バッテリー警告音を発するでしょう、この時、あなたはリモコンの電池を交換する必要があります、新旧電池を混合することはできませんに注意を払う。
- 2、障害物回避機能は、障害物回避装置と追加で使用する必要があります、屋内モード (オフGPSモード) で障害物回避機能が有効になる前に開きます。

充電とバッテリーの取り付け

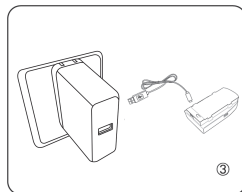
ドローン充電の紹介



1. バッテリーの上のボタンを押し、引き戻してバッテリーを機体から取り外します。(図1)



2. 専用充電ケーブルを接続して充電します。(図2)

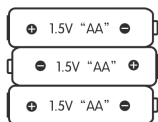


3. 電源アダプターを差し込みま。(図3)

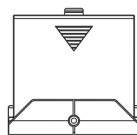
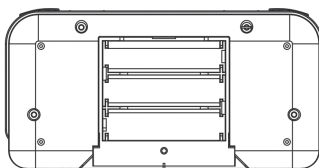
上の図に示すように、取り外した後、インターフェイス A をコンピュータの USB インターフェイスに接続し、インターフェイス B をリチウム電池に接続すると、赤色のライトが点灯したままになります。完全に充電されると赤いライトが消えます。充電時間は約180分です。

注意: 充電には工場出荷の専用充電ケーブルを使用し、破損した充電器や他社製の充電ケーブルを使用して充電することは禁止されています。

リモコンに電池の取り付け



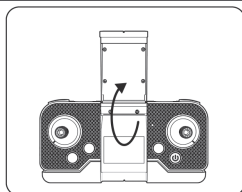
(電池は別途購入する必要があります)



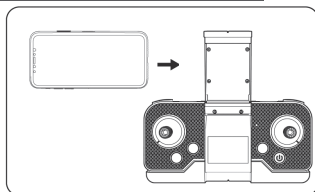
電池カバーを開け、電極の説明書に従って単三電池 3 本を正しく挿入します。

- 電池を取り付けるときは、リモコンと電池のプラス極とマイナス極を確認し、逆に取り付けしないでください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜたり、異なる種類の電池を混ぜたりしないでください。

携帯電話の設置紹介



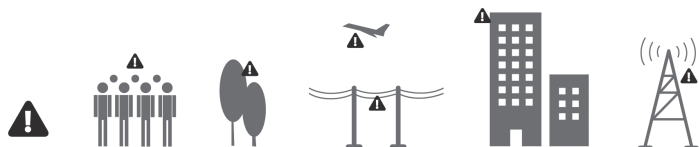
1. リモコンの携帯電話ホルダーを開きます。



2. 携帯電話を携帯電話ホルダーに取り付けます。

安全な飛行に関する指示

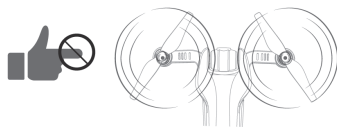
次の条件で飛行することをお勧めします：



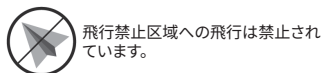
航空機に搭載されているコンパスに影響を与える可能性があるため、人混み、樹木、高圧電線、建物、空港、水域、高輝度電源や基地局の上空や近くを飛行しないことをお勧めします。



雨、雪、霧、風速 10m/s または 22mph を超えるなどの厳しい気象条件ではこの製品を使用しないでください。



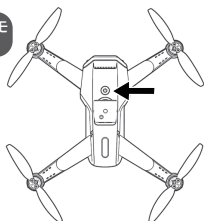
回転するプロペラやモーターから離れてください。



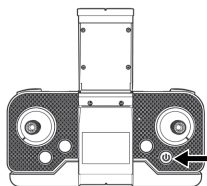
 安全上の注意事項を理解することは、安全な飛行のために非常に重要です。飛行する前に安全上の注意事項をよくお読みください。

離陸前の準備

ドローンとリモコンのリンク

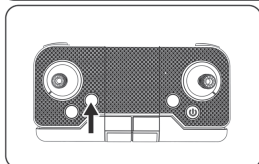


ドローンにバッテリーを装着し、機体の電源スイッチを3秒以上長押しすると、機体から音が鳴り、機体の前後の脚ライトが速い点滅から遅い点滅に変わります。

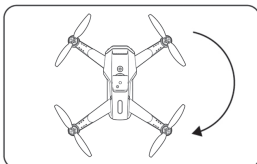


リモコンの電源スイッチをオンにし、「ディディ」という音が2回鳴ります。リモコンのインジケータライトが常に点灯し、ドローンの前部の脚ライトが常に点灯し、後部の脚ライトがゆっくり点滅します。リンクは成功しました。

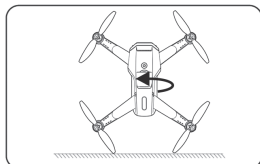
地磁気を校正する



短く押してワンキー地磁気を校正すると、リモコンから「ディディ」という音2回が鳴り、機体前後の4つの脚ライトが点滅します。

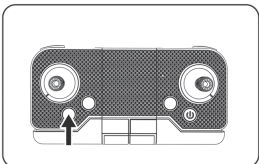


ドローンを水平に持ち、時計回りに3回回転させると、リモコンは「ディ」という音が鳴り、同時にドローンの前方緑色ライトと後方赤色ライトがゆっくり点滅し、水平修正が成功したことを示します。



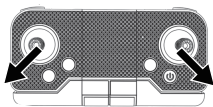
水平校正が成功した後、機体を垂直に持ち上げて時計回りに3回回転させると、リモコンは「ディディ」という音が2回鳴り、同時に機体前方の緑色ライトが常時点灯し、後方の赤色ライトが点滅し、垂直校正が成功したことを示します。

ジャイロスコープ校正



ジャイロスコープ校正ボタンを短く押すと、リモコンから「ディ」という音が鳴り、ドローンの前後のライトが速く点滅し、次にフロントのライトが点灯し、同時にリモコンから「ディ」という音が鳴り、ジャイロスコープが正常に調整されたことが示されます。

屋外飛行

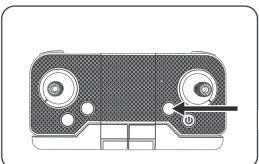


1. 衛星検索。上記の操作が完了すると、ドローンは自動的にGPS信号を検索し、少なくとも8個の衛星を表示します。このとき、後部ライトは常に点灯し、同時にリモコンから「ディ」という音が鳴ります。衛星検索が完了しました。

2. ロック解除。リモコンのロックを解除するとドローンのモーターが回転し始め、この時点でロックの解除は成功し、通常通り飛行できるようになります。

(機体の前後のライトが前後に点滅する場合は、現在位置が信号干渉の影響を受けており、変更する必要があることを意味します。屋上や広場、川辺、海辺などの広場で遊ぶのがおすすめです。)

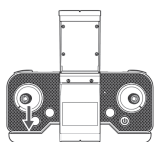
屋内飛行



上記の操作を完了した後、リモコンは「GPSスイッチ」ボタンを長押ししてGPS機能をオフにし、リモコンのディスプレイのGPS表示は「OFF」を表示し、つまりインドアモードに入る。リモコンがジャイロスコープの校正ボタンを短く押し、校正が完了するのを待ち、'8'ロック解除の外に、航空機のモーターが回転し始め、この時、ロック解除が成功した。

着陸

下降



機能紹介

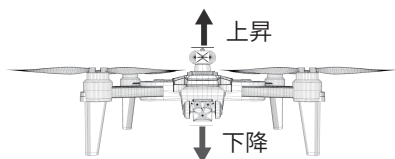
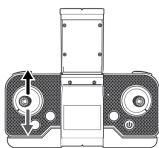
ジョイスティックの紹介

1. 左 (スロットル) ジョイスティック

(左のジョイスティックは飛行の高さと左右の方向を制御します)

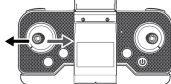
上昇

下降



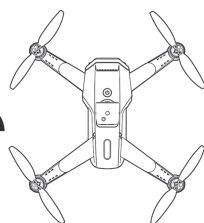
左折

右折



左折

右折

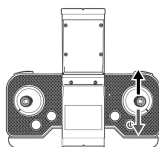


2. 右 (方向) ジョイスティック

(右のジョイスティックは前進、後退、左右側の飛行方向を制御します)

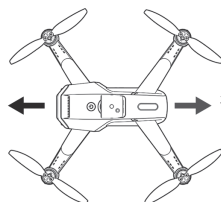
前進

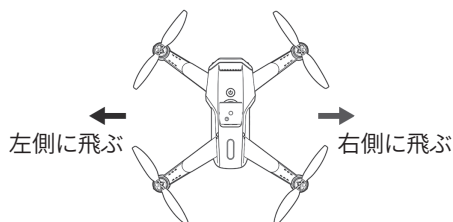
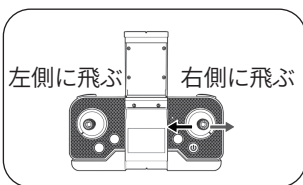
後退



前進

後退





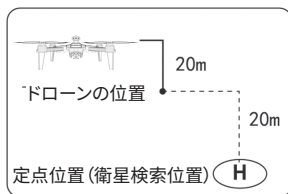
GPS定点の紹介

1. 機体が正常にリンクされた後、開けた遮るものがない環境で1～3分かかります。リモコンから「ディディ」という音が鳴り、機体の前後のライトが点灯します。測位が成功したことを示します。
2. 機体の前後のライトが点滅する場合は、現在位置が信号干渉の影響を受けているため、会場を変更する必要があります。屋上や広場、川辺、海辺などのオープンスペースでプレイすることをお勧めします。
3. 「GPS スイッチ」ボタンを長押しして GPS 機能をオフにすると、ディスプレイに GPS が「OFF」と表示され、屋内モードになります。

ワンキー戻る

ワンクリックで戻るには2つの状況があります:

- ① アクティブリターン: ワンキー戻るボタンを押すと、リモコンから「ディディ」という警報音が鳴り続け、機体は着陸のために離陸点に戻り始めます。ワンクリックリターン終了時、リモコンのブザー音は3秒後に自動的に解除されます。
- ② 自動復帰: 航空機が最初の低電圧レベルを検出すると、航空機の前後のライトがゆっくり点滅し、航空機は自動的に離陸点から半径20m以内に帰り、高度が自動的に着陸します。地上約20mの高さまで飛行し、このとき約2～4分間飛行することができます。二次低電圧が検出され、航空機の高度が10メートル未満になると、航空機は自動的に高度10～20メートルまで上昇し、離陸点に戻り、自動的に地面に着陸して飛行を停止します。



写真とビデオ

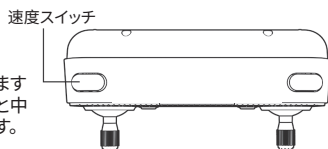
1. リモコンの写真ボタンを長押しするか、アプリの写真アイコンをクリックして写真を撮ります。
2. リモコンのビデオボタンを長押しするか、アプリのビデオアイコンをクリックして録画します。

お知らせ

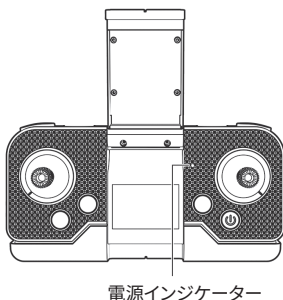
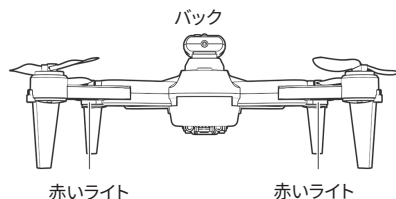
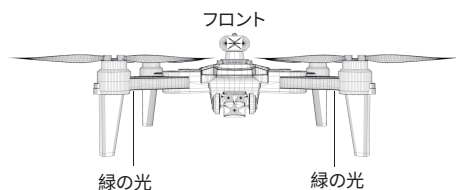
ドローンが携帯電話に接続されている場合、写真とビデオのコンテンツは携帯電話に保存されます。

速度

1. 速度は3段変速です。
2. リモコンの速度スイッチボタンを短く押して、飛行速度を制御します（「ディ」という音1回が鳴ると低速、「ディディ」という音2回が鳴ると中速、「ディディディ」という音3回が鳴ると高速、順番にサイクルします。起動時のデフォルト設定は低速です）。



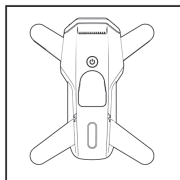
ライトの紹介



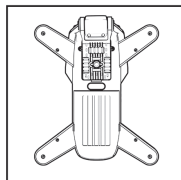
問題解決ガイド

問題	原因	解決策
リモコンの電源が入っていない	1. オン/オフスイッチが「オフ」の位置にある	1. オン/オフスイッチを「オン」の位置にします。
	2. バッテリーが切れている	2. 電池を交換する
リモコンの故障	1. リモコンの電源が入っていない	1. オン/オフスイッチを「オン」の位置にします。
	2. ドローンのバッテリーが接続されていない	2. ドローンのバッテリーを正しい方法で接続します。
	3. 風が強すぎる	3. 屋内の開けた場所で飛行してください。
ドローンが上昇できない	1. ローター速度が遅すぎる	1. パワージョイスティックを上を押します。
	2. 機体が完全に充電されていない	2. 機体をフル充電する
制御不能	パワージョイスティックが戻らず、機体が自動的に上昇する	リンクするときは、パワージョイスティックが最も低い位置にある必要があります。
	有効制御距離を超えている	有効距離内で機体を制御してください。
着陸が早すぎる	パワージョイスティックの引き戻しが速すぎる	ジョイスティックをゆっくりと後ろに引いてスムーズな着地を維持します。

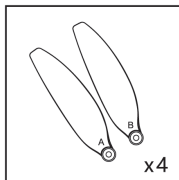
付属品図



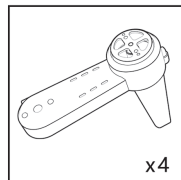
01. ヘッドカバー



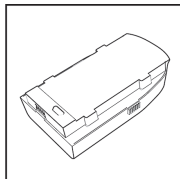
02. ボトムカバー



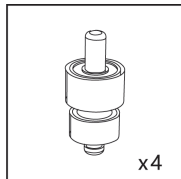
03. プロペラ



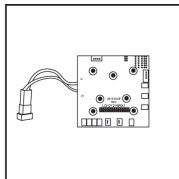
04. アーム



05. リチウム電池



06. モーター



07. 受信ボード

注：写真は参考用です。実際の商品をご確認ください。

